

平成 30 年 6 月 8 日

福島地方環境事務所の最近の動き
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町及び浪江町の特定復興再生拠点区域について、建物等解体撤去及び除染工事を実施中

○ 中間貯蔵施設関連

- ・平成 30 年 5 月末時点で約 922ha の用地を取得
- ・平成 30 年度は 5 月末時点で、約 12.7 万 m³の輸送を実施
- ・南相馬市から平成 30 年度の輸送を開始
- ・平成 30 年 6 月 8 日に中島村からの全ての除去土壌等の輸送が完了予定

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・京都御苑において福島の実環境回復の状況や魅力を伝える「京都御苑ふくしまウィーク～味わい、楽しむ、ふくしまのいま～」を開催予定 (6/9～6/15)

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域について、各町村の策定した計画に基づき、家屋解体・除染等を実施。

- 最近の動き
 - ・ 双葉町及び大熊町について、建物等解体撤去及び除染工事を実施中
 - ・ 浪江町について、除染工事に着手(5/30)
詳細は別添 1、3 のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3月に8県100市町村のすべてで面的除染が完了、必要なフォローアップ等を実施。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管。搬出が終わった仮置場については、順次、返地に向けた作業を実施。

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）
別添 1 のとおり
- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添 4 のとおり

II. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施。

(1) 最近の動き

- 平成 30 年 5 月末時点で約 922ha の用地を取得
別添 5 のとおり
- 平成 30 年度は 5 月末時点で、約 12.7 万 m³の輸送を実施
別添 6 のとおり
- 南相馬市から平成 30 年度の輸送を開始
別添 7 のとおり
 - ・ 南相馬市 http://josen.env.go.jp/chukanchozou/pdf/moving_soil_plan_minamisouma_h30.pdf
- 平成 30 年 6 月 8 日に中島村からの全ての除去土壌等の輸送が完了予定
別添 7 のとおり

(2) 平成 30 年度の進捗状況

○ 除去土壌等の輸送

(6月5日までの搬入実績)

搬出市町村		搬出可能量 (m ³)	学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	搬入量(m ³)※
浜通り	いわき市	22,200	7,800	2,847
	相馬市	16,100	-	-
	南相馬市	113,200	-	226
	広野町	31,900	-	-
	檜葉町	72,400	-	17,891
	富岡町	162,400	-	12,035
	川内村	42,400	-	3,513
	大熊町	147,000	-	11,380
	双葉町	132,700	-	4,410
	浪江町	130,300	-	6,656
	葛尾村	71,400	-	-
	飯館村	151,600	-	4,477
中通り	福島市	78,700	20,000	2,898
	郡山市	67,200	20,900	21,740
	白河市	33,800	100	5,603
	須賀川市	22,000	3,600	5,810
	二本松市	50,000	-	4,311
	田村市	47,800	300	2,426
	伊達市	62,600	6,000	2,409
	本宮市	20,600	-	3,695
	桑折町	19,200	-	-
	国見町	16,300	-	3,474
	川俣町	71,600	-	9,356
	大玉村	13,700	-	2,717
	鏡石町	0	300	-
	天栄村	16,100	-	-
	西郷村	54,900	-	2,568
	泉崎村	15,200	-	5,017
	中島村	6,400	-	5,529
	矢吹町	13,900	-	329
三春町	24,400	-	-	
合計		1,728,000	59,000	141,317

※ フレキシブルコンテナ等 1 袋の体積を 1 m³と換算しています。※ 平成 30 年度の 1 年間の輸送量は、180 万 m³程度。

- 中間貯蔵施設区域内の用地取得について
平成 30 年 5 月末時点の用地の状況は、別添 5 のとおり
※別添 5 に関するお問合せは、環境省環境再生施設整備担当参事官室 西村、信原
電話 03-5521-8349 まで
- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト））
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添 2 のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

①自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中

（1）最近の動き

- ・ 京都御苑（京都市上京区）において福島の実環境回復の状況や魅力を伝える「京都御苑ふくしまウィーク～味わい、楽しむ、ふくしまのいま～」を開催予定（6/9～15）
<http://josen.env.go.jp/plaza/info/event/201806.html#e180609a>
- ・ 葛尾村（6/2）、田村市（6/9）において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施
- ・ ガンマカメラ活用リスクミ支援事業を実施中
- ・ 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）等を実施中

（2）前年度までの実施状況

項 目		H29 年度実績 (H28 年度実績)
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会 	77 回 (52 回)
	(イ) 専門家派遣 	47 回 (41 回)
②住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー 	72 回 (27 回)

	(イ) 車座意見交換会 	62 回 (24 回)
	(ウ) 個人線量測定の支援 (WBC) 	83 日 (8 日)
	(エ) リスクコミュニケーション拠点 (長崎大、弘前大) による活動	-
	(オ) ガンマカメラを活用した除染に関するリスクコミュニケーション支援事業	184 台・日 (186 台・日)
③環境再生等に関する情報発信	(ア) 環境再生プラザの移動展示	42 件 [55 日] (78 件 [92 日])
	(イ) 環境再生プラザの専門家派遣	142 件 (208 件)

(ウ) テレビ

- ・「なすびのギモン Part5」(全 8 回) を放送
※Part1 から Part4 も含め、以下のホームページから視聴できます。
<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/movie/>
- ・特別番組「いのち、つなぐ 檜葉町・木戸川の今」を放送

(エ) ラジオ

- ・「福島再生へのみち」(全 26 回 (FM局 13 回、AM局 13 回)) を放送
※以下のホームページから視聴できます。
FM局 http://josen.env.go.jp/plaza/radio_streaming/
AM局 http://www.rfc.jp/podcast/podcast_program.php?program_id=29

(オ) まんが

- ・まんが「なすびのギモン」のシリーズ第 4 作「環境再生のあゆみ」編を作成
※これまでの 3 作(「身の回りの放射性物質」編、「健康影響」編、「食品」編)も含め、以下のホームページから読むことができます。
<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/index.html#indexManga>

(カ) イベント

- ・「くるまざカフェ」および「ふくしま“みち”さがし」を実施
※除染や福島環境再生に取り組む様々な方々と情報交換を行い、経験を共有する体験型のイベント(くるまざカフェ)と本イベントの参加者・関係者も交えたシンポジウム(ふくしま“みち”さがし)です。
<http://josen.env.go.jp/plaza/about/communication/kurumaza/>

(キ) 環境再生プラザの企画展示

- ・「福島環境再生事務所の職員等による『作品展』(H29.2~7)」、「除染と地域交流(H29.7~H29.12)」、「木戸川流域の環境回復(H29.12~H30.3)」を実施。
3 月 27 日より「ふくしま“みち”さがし」をテーマに実施中。
http://josen.env.go.jp/plaza/about/exhibition_180327.html

除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事状況等
南相馬市	<p>○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/3/5～)</p> <p>※除染等工事の作業員数 440 人</p> <p>○平成 29 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H29/6/14～)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事实施中 (2,639 件解体済/2,845 件受付済)</p>
浪江町	<p>○平成 29 年度浪江町仮置場原状回復工事 (その 1) (H29/9/28～)</p> <p>○平成 29 年度 (平成 28 年度繰越) 浪江町フォローアップ除染等工事 (H29/10/27～)</p> <p>※除染等工事の作業員数 190 人</p> <p>○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/3/22～)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事实施中 (1,892 件解体済/3,781 件受付済)</p>
双葉町	<p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/25～)</u></p> <p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/2/13～)</u></p> <p>※除染等工事の作業員数 160 人</p> <p>○平成 29 年度双葉町建物解体等撤去工事 (その 2) (H30/4/16～)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去申請を受付中 (292 件受付済。うち拠点区域 267 件) であり、解体撤去工事实施中 (22 件解体済。うち拠点区域 1 件)</p>
大熊町	<p>○平成 29 年度大熊町仮置場復旧等工事 (H29/11/22～)</p> <p><u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/3/9～)</u></p> <p>※除染等工事の作業員数 250 人</p> <p>※被災家屋等の解体撤去申請を受付中 (536 件受付済。うち拠点区域 447 件) であり、解体撤去工事实施中 (162 件解体済。うち拠点区域 85 件)</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

市町村	工事状況等
富岡町	<p>○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/6/20~)</p> <p>○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町フォローアップ除染等工事 (H29/10/6~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 400 人</p> <p>○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その 2)(H30/3/7~)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去申請を受付中(2,995 件受付済。うち拠点区域 172 件)であり、解体撤去工事実施中(2,199 件解体済。うち拠点区域 124 件)</p>
檜葉町	<p>○平成 29 年度檜葉町仮置場復旧等工事(H29/5/27~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 100 人</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事実施中(1,428 件解体済/1,577 件受付済)</p>
飯舘村	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 150 人</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事実施中(993 件解体済/1,407 件受付済)</p>
川俣町	<p>○平成 29 年度川俣町可燃物処理等整備工事(H29/8/9~)</p> <p>※除染等工事の作業員数 80 人</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事実施中(382 解体済/392 件受付済)</p>
葛尾村	<p>○平成 29 年度葛尾村建物解体等撤去工事(H29/11/30~)</p> <p>※被災家屋等の解体撤去工事実施中(364 解体済/406 件受付済)</p>

※除染等工事の作業員数 合計 1,800 人

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

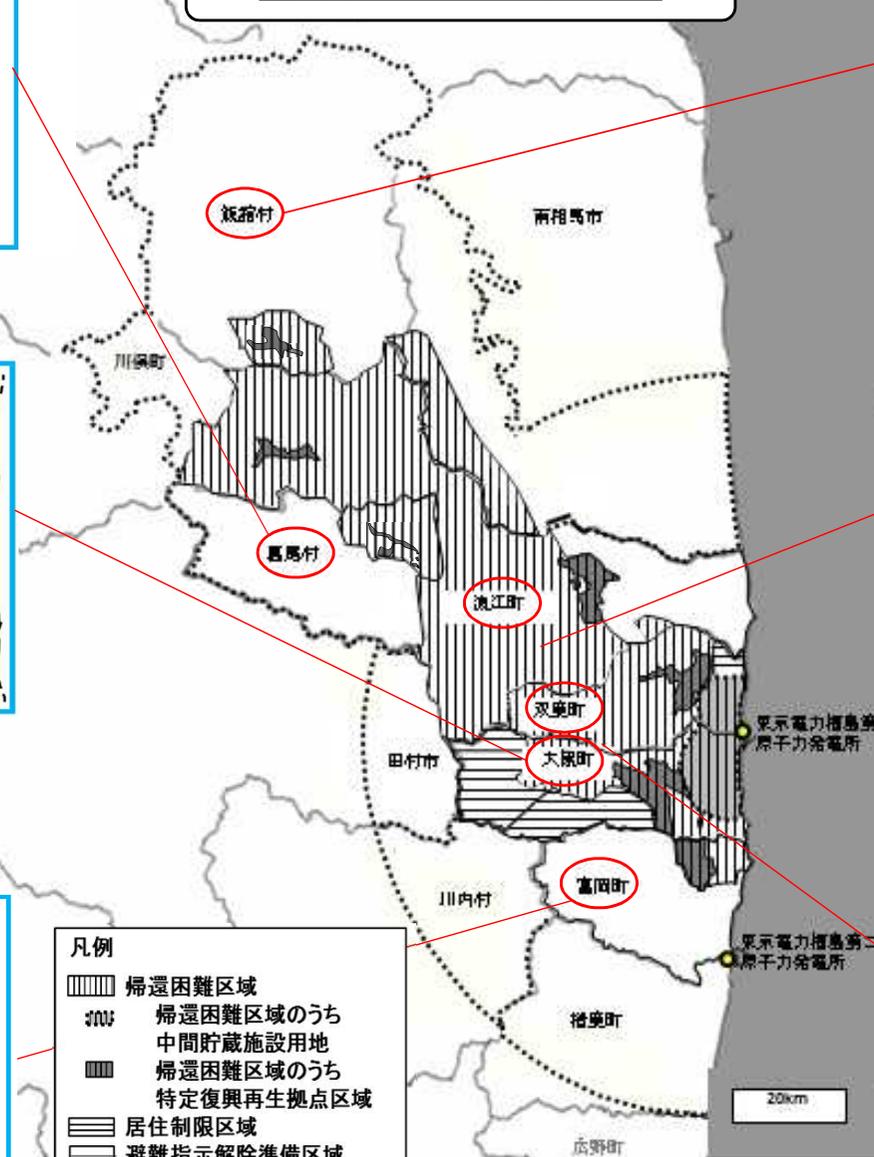
中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵 施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事(双葉町) (H28/ 6/14～) ※H28. 11 月に着工、H29. 12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事(大熊町) (H28/ 6/14～) ※H28. 11 月に着工、H29. 10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵(双葉 1 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/11～) ※H29. 10 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(双葉 2 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/18～) ※H30. 1 月に着工、今年度冬以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(大熊 1 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/11～) ※H29. 11 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(大熊 2 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/11～) ※H29. 9 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(大熊 3 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/18～) ※H29. 11 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 30 年度中間貯蔵(双葉 3 工区)土壌貯蔵施設工事 (H30/ 4/6～) ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵(大熊 4 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H30/ 4/5～) ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵(大熊 5 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H30/ 4/10～) ※今年度中に着工予定

	工事名
廃棄物 関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物 処理その 1 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物 処理その 2 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/ 3/9～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/ 3/8～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（双葉町）（H29/ 5/18～H30/5/15） ※工事完了
	○平成 29 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（大熊町）（H29/ 5/18～H30/5/15） ※工事完了
	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双 葉町）（H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）

特定復興再生拠点区域整備の状況(平成30年6月8日時点)

避難指示区域の概念図



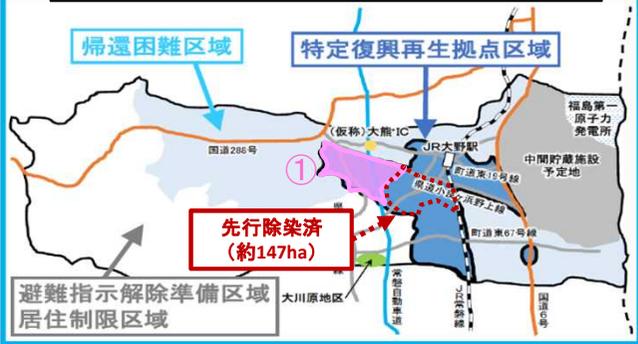
- 凡例
- 帰還困難区域
 - 帰還困難区域のうち
中間貯蔵施設用地
 - 帰還困難区域のうち
特定復興再生拠点区域
 - 居住制限区域
 - 避難指示解除準備区域
 - 旧避難指示区域
(2017年春までに解除された区域)

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



【工事状況】解体・除染工事について調整中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】
①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染工事
(解体460件、除染約160ha)：3月9日着工

富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



【工事状況】解体・除染工事について調整中

飯舘村(2018.4.20認定、約186ha)



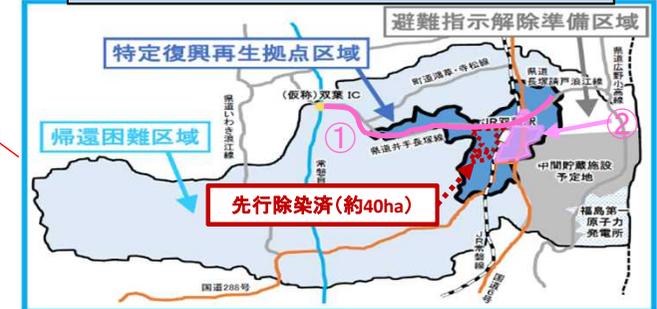
【工事状況】解体・除染工事について調整中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】
①一部道路の除染工事(除染4ha)：5月30日着工

双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】
①復興シンボル軸解体・除染工事
(解体55件、除染7ha)：12月25日着工
②駅東等解体・除染工事(解体640件、除染約90ha)
：2月13日着工

特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 30 年 6 月 8 日

【最新の進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
5/30～6/5	613	21,767

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月	707	707
平成 29 年 12 月	2,746	3,453
平成 30 年 1 月	1,866	5,319
平成 30 年 2 月	2,523	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月	4,287	21,154
平成 30 年 6 月（5日まで）	613	21,767

搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

中間貯蔵施設用地の状況について

平成30年5月末時点

別添5

全体面積 約1,600ha	項目	全体面積内訳	全体面積に対する割合	登記記録人数 (2,360人)内訳
民有地 約1,270ha (約79%)	地権者連絡先 把握済み	約1,220ha	約76% <small>民有地と公有地の合計では 全体の約97%となっている。</small>	約1,890人
	調査確認 承諾済み	約1,170ha	約73%	約1,660人
	物件調査済み	約1,160ha	約73%	約1,650人
	契約済み	約922ha	約57.6% (約72.6%)※1	1,485人 (約62.9%)※2 (約78.6%)※3
公有地等 約330ha (約21%)	町有地	約165ha	約10.3%	※1 民有地面積の 1,270haに対する割合。 ※2 登記記録人数の 2,360人に対する割合。 ※3 連絡先把握済みの 1,890人に対する割合。
	国有地/県有地/ 無地番地の土地	約165ha	約10.3%	

【地権者】

土地所有者・建物所有者

登記記録 2,360人 ※1

※1 建物以外の物件のみの所有者等の存在、相続の発生等もあるため、今後、地権者数は増減あり。

連絡先を把握している地権者 現在の把握数 約1,900人

●連絡先を把握している地権者の所有地の面積の合計は、約1,550ha(うち、公有地(国、県、町等の所有地)等の面積は、約330ha)となっている。全体面積(約1,600ha)に対して、約97%となっている。

連絡先を把握できていない地権者 約460人

戸籍、住民票情報等により、連絡先確認

個別訪問している方等 約1,860人

建物等の物件調査についての協力要請

建物等の物件調査の承諾を得ている件数 約1,660件

現地調査の実施

調査不要の案件

●補償額を提示～説明を継続

●物件調査結果に基づく補償金額算定～補償額を提示～説明を継続

○件数 1,485件 ※2 契約実績 ○面積 約922ha

・死亡されている方:約420人 → 詳細を確認
・登記記録の所有者の記載が氏名のみ 約20人 → 対応策検討
・登記名義人が戸籍に該当なし 約20人 → 対応策検討

(注) 数値については概数であるため、合計と一致しない場合がある。

※2 土地売買:1,379件、地上権設定:106件。

輸送の実施状況（平成30年5月31日時点）

別添6

搬出市町村		搬出可能量	学校等(現場保管)からの輸送予定量	5月中輸送実績	4～5月輸送実績	搬出市町村		搬出可能量	学校等(現場保管)からの輸送予定量	5月分輸送実績	4～5月輸送実績
浜通り	いわき市	22,200	7,800	1,581	2,784	中通り	二本松市	50,000	-	1,489	3,658
	相馬市	16,100	-	-	-		田村市	47,800	300	1,661	1,661
	南相馬市	113,200	-	-	-		伊達市	62,600	6,000	1,210	1,787
	広野町	31,900	-	-	-		本宮市	20,600	-	1,861	3,335
	楡葉町	72,400	-	9,561	17,667		桑折町	19,200	-	-	-
	富岡町	162,400	-	9,830	10,782		国見町	16,300	-	1,575	3,138
	川内村	42,400	-	2,416	2,444		川俣町	71,600	-	5,472	8,032
	大熊町	147,000	-	5,931	10,732		大玉村	13,700	-	1,709	2,381
	双葉町	132,700	-	1,582	4,098		鏡石町	0	300	-	-
	浪江町	130,300	-	4,382	5,601		天栄村	16,100	-	-	-
	葛尾村	71,400	-	-	-		西郷村	54,900	-	2,285	2,568
	飯舘村	151,600	-	3,595	3,693		泉崎村	15,200	-	2,215	4,469
中通り	福島市	78,700	20,000	1,213	2,618	中島村	6,400	-	2,497	5,065	
	郡山市	67,200	20,900	12,006	19,930	矢吹町	13,900	-	128	128	
	白河市	33,800	100	3,286	4,993	三春町	24,400	-	-	-	
	須賀川市	22,000	3,600	2,817	5,773						

合計	1,728,000	59,000	80,302	127,337
----	-----------	--------	--------	---------

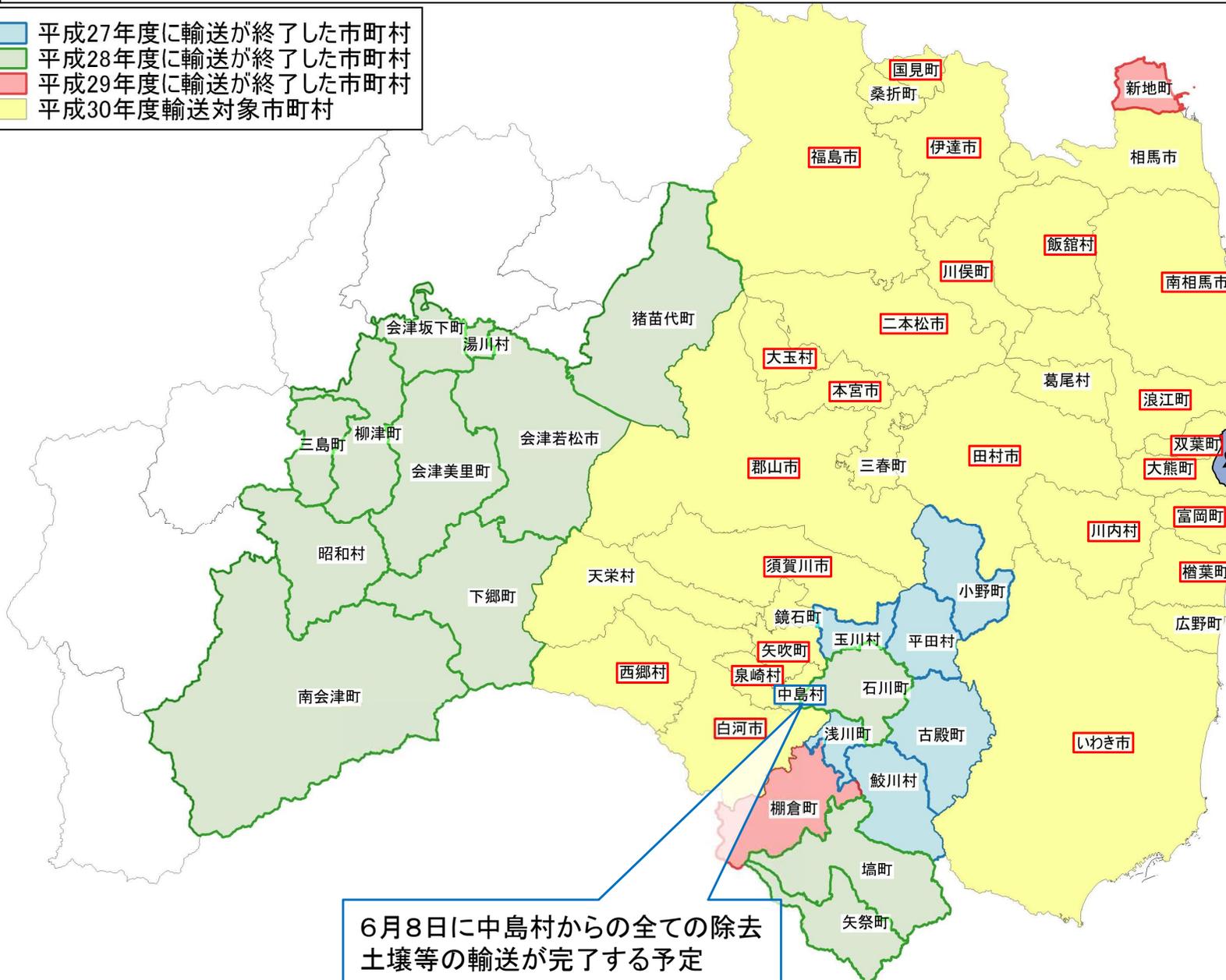
単位は [m³] 。フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1m³と換算しています。

中間貯蔵施設への輸送対象市町村

別添7

- 今週(5/30~6/5)、新たに南相馬市から平成30年度の輸送を開始した。
- 既に今年度の輸送を開始している市町村は**赤枠**のとおり。
- また、**6/8**に中島村(**青枠**)の全ての除去土壌等の輸送が完了する予定。

- 平成27年度に輸送が終了した市町村
- 平成28年度に輸送が終了した市町村
- 平成29年度に輸送が終了した市町村
- 平成30年度輸送対象市町村



今年度搬出可能量: 113,200m³
神山仮置場から搬出を開始

中間貯蔵施設

6月8日に中島村からの全ての除去土壌等の輸送が完了する予定